

地域の情報

事業所所在地の環境	人口は約 7 万人。高齢化が進む地域である。 県庁までは自動車で 1 時間、都市圏までは電車で 2 時間程度かかる。 地元にはいくつか大きい工場もあるが、農業も盛んな地域である。 公共交通機関は地元の鉄道、バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。
地域の社会資源の状況	障害福祉サービス事業は、市内の社会福祉法人や NPO 法人により、就労継続支援 A 型・B 型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。 相談窓口として、障がい者相談支援センター 1 ケ所、特定相談事業所 8 ケ所があり、障害者就業・生活支援センターは隣市にある。基幹相談支援センターも 1 ケ所設置されている
地域の地場産業	製造をはじめとした中小企業が多い。以前は、家内工業の工場がたくさんあり、職親制度等も利用して障害のある人の雇用がされていたが、最近はほとんどが閉鎖・倒産している。 農家も高齢化が進み後継者問題がある。

生活介護事業所「すまいる A」の概要

社会福祉法人 ○△□☆

法人内に 生活介護事業所 1 ケ所 （すまいる A） 就労継続支援（B 型）事業所 2 ケ所
施設入所支援事業所 1 ケ所 グループホーム 4 ケ所

「すまいる A」 定員 40 名

職員構成 管理者 1 名 サービス管理責任者 1 名 生活支援員 15 名 看護師 1 回／週

利用者の平均年齢は、約 34 歳 男性 29 女性 14 名 日平均利用者数 約 38 人

平均障害支援区分 4. 2

現在の利用者は、知的障害のある方が主となっているが重度高齢化が課題となっている。

作業活動に力を入れている。

作業グループ ねじの梱包作業（特に請け負う量が多くなるわけでもなく安定して受注している）

公園清掃（市から委託を受けゴミ拾いを中心におこなっている）

農作業グループ（生産販売が目的ではなく作ることの楽しみを中心としている）

菓子作りグループ（週に 1 度（木曜日）菓子を作っている時のグループ。

作ったものは販売せずに事業所内で金曜日午後のおやつに食べている）

余暇活動も積極的に取り入れている。

本人のニーズや状態に合わせてグループの所属を決めている。午前と午後の活動プログラム（各作業活動、創作活動、体操、音楽等）を計画しておこなっている。

入浴サービスはない。

すまいる A は高橋さん自宅から事業所まで車で約 10 分（徒歩ならば約 45 分かかる）の距離である。

事業所の近くに市バスのバス停がある。（高橋さんの自宅近くにもバス停があり事業所の路線上）

日課＊平日 8:30～15:30 ＊土日祝日は休所